

対し、平成31年度には270人になる予定で年々増加しています。そのうち3歳未満児数は87人と全園児数の1/3近くまでとなり、未満児保育のニーズはますます高まってきています。

当町は、可茂管内の中で臨時・パート保育士の賃金を一番高く設定しております。新しい錦津保育園の完成や、八百津トンネルの開通による通勤圏の拡大さらに八百津町ならではの保育の仕事の魅力を大いにPRしながら、安定した保育士の確保に努めていきたいと考えております。

問 学童保育事業について

Q1 民間事業者への全面委託について伺う。

答 (藤本健康福祉課長)

現在社会福祉協議会に委託しております学童保育事業ですが、新年度からは、継続可能な事業運営を図るため、民間への運営委託に転換します。

全面委託に移行する理由は大きく二つあり、一つ目は支援員の人材確保の問題です。放課後学童は午後3時から午後6時、夏休みなどの期間は終日開設という特殊な勤務形態の中で、新しい支援員の応募はほとんどなく、その対策は急務となっております。

二つ目は、民間が持つノウハウを活かした質の高い安定した指導の確保です。

2月8日にプロポーザル方式による入札参加申込要領を公示、3月6日には現在の支援員への説明会を行いました。

今後の学童保育事業の安定した継続と、大切な子どもたちをお預かりするという責務に立って、児童への充実した支援と保護者の負担軽減、命をお預かりするという安心安全の面からも、民間企業に運営委託することが最善の方法と判断しました。

問 移住・定住について

Q1 新年度は体験住宅を整備し、不安なくスムーズに移住してもらえようとするとのことだが、このことについて伺いたい。

答 (永田地域振興課長)

平成30年度2月までの相談件数は60件で、契約件数は10件となっており、相談件数は延べ137件、実際の移住は32世帯80人となり、非常に多くの方に八百津町に移住していただいております。

平成31年度は空き家バンク登録件数を増加できるよう、移住フェアなどで要望が多かった、体験住宅の整備を検討し計画をたてました。今回整備する住宅は、久田見

入野地区の教員住宅で、平成5年から7年に建築されていますが、利用者がなく空き家状態となっております。久田見地区は空き家バンク登録件数や移住者も多く、久田見地区の建物を活用することで、実際の声を多く聞けるため、メリットが非常に大きいと考えています。

問 様々なスポーツ施設等について

Q1 グラウンド・施設等の町内外の利用者数について伺う。また、使用料金の見直しが必要な時期ではないかと思うが、執行部の考えを伺う。

答 (各務教育課長)

町内の施設数は31で、前年度延べ総利用者数は約125,200人となっております。主な施設の利用者数は、蘇水公園多目的グラウンド28,800人、八百津小学校体育館15,800人、B&Gプール12,200人、和知体育館8,200人の方々にご利用いただいております。利用者全体の町内外の割合は、町内約8割、町外約2割です。

大会などに多く活用されている蘇水公園多目的グラウンド・同野球場・八百津小学校体育館・B&G体育館・和知テニスコー

トなどにつきましては、町内約4割、町外約6割となっております。

使用料の見直しについては、その時期が迫っていると考えております。料金改定につきましては、施設の利用状況やどのような方が利用しているのか、町内と町外の料金区分や、受益者の費用負担など様々なことを考慮し、町の財政状況や施設の管理状況など総合的に判断して、料金改定や実施時期の検討をしていきたいと思っております。

山田 勉 議員

問 当町の中心商店街の将来について

Q1 町の商店街にはシャッター通りが出現し、多くの小売業者が廃業に追い込まれている。本町通りでハッチを開設しているが、「上手くいっていない」と言われており、そのうえ病院や老人施設の移設もあり、街の中心部の衰退を懸念しているが、町長はどのように考えているのか伺いたい。

答 (金子町長)

当町の中心商店街においては、高齢化や後継者不足に伴い、店舗としての数が減少し賑わいが少なくなっている状況は否めません。また、本町通りの病院も手狭で、老朽化に伴い移設されることも聞いております。

当町の中心商店街である本町通り商店街については、その店舗群は趣のある景観で、八百津町の歴史を感じる事ができるため、町のパンフレットにも掲載されております。

ハッチにつきましては、「上手くいっていない」とのご指摘もございましたが、休日を中心にマルシェなどを開催し、まもなくオープンから1年を迎えます。現在毎日の営業はしていませんが、累計で約2,500名が利用されています。

今後は、皆さんが利用しやすくできるよう運営者と打ち合わせで、時間貸しなどを実施していくこととしています。

今後、空き店舗で出店される方に、改修費用の一部を補助する制度を利用してもらうことで、店舗数が増加し、商店街として賑わいを少しでも取り戻せるよう、後押ししていきたいと考えております。



本町通り